

春を告げる二日市 開催 ～川辺二日市・ちらんまち二日市～

2月6日、7日、開運夢通り商店街（川辺町商店街）と知覧まち商店街で川辺二日市とちらんまち二日市が開催されました。川辺二日市は230余年も続く伝統市で、約400の露店のほか木市やフリーマーケット、骨董市やグルメフェスタなどで賑わい、また商工会館横や郵便局前では猿回しやバナナのたたき売りなどもあり来場者が楽しい2日間を過ごせるようさまざまな催しが行われました。また、ちらんまち二日市でも恒例のといのずしの振る舞いやたまごのプレゼントに家族連れや買い物客が長蛇の列を作りました。両日とも天気が良く、市内外から多くの方が来場し、春の風物詩を楽しんでいました。



(①川辺二日市、②ちらんまち二日市)



▲通りには薩南工業高校生が作成したからくりも。歯車を回すと上の人形が動きます。

女優“たぬき”さんのひとり芝居 ～手蓑校区文化講演会～

2月5日、手蓑小学校体育館で毎年開催の文化講演会が開催されました。今回は女優“たぬき”さんこと田上美佐子さんのひとり芝居「大切なあなたへ～命と希望～」が上演され、ひきこもりだった子どもが母の強い愛情で守り育てられていく中、「芝居」との出会いにより希望を持って生きていくといったご本人の体験を熱演。約100人の来場者は舞台に引き込まれ、すすり泣く姿も見られました。



▲手蓑小5年生の塗木駿也くんは「夢や希望を持つことができました。これからも平和や命の大切さを伝えてください」とお礼のことばを述べました。

▼県グラウンド・ゴルフ協会有川警会長から「高齢者の福祉に役立つよう有効に活用してください」と贈呈されました。



県グラウンド・ゴルフ協会 車両贈呈 ～市社会福祉協議会 川辺支所へ～

2月1日、市社会福祉協議会川辺支所で県グラウンド・ゴルフ協会車両贈呈式が行われました。これはグラウンド・ゴルフ協会主催の大会でホールインワンした競技者が1回100円以上寄附し、基金として積み立てたものを活用するもので、川辺町グラウンドゴルフ協会は会員数が610人と県内でも多く、基金積み立てへの貢献が認められました。

葉タバコの種蒔き式 ～今年こそはと思いを込めて～

1月12日、颯娃町別府の葉タバコ育苗センターで颯娃・知覧・枕崎地域の葉タバコの種蒔き式が行われました。昨年は記録的大雨や日照不足に見舞われたため収穫量が前年より2割も減少し、非常に厳しい1年



▲市では、平成28年度葉タバコも継続して、生産者30戸で約80ha栽培されます。

となりました。今年こそは生産目標10アール当たり250kgを達成しようと生産者など約70人が、思いを込めて種蒔きを行いました。

わくわくじんけんルーム ～御領保育園～

1月19日、颯娃町の御領保育園で『わくわくじんけんルーム』が開催されました。人権擁護委員による紙芝居や、人権イメージキャラクターの人KENまもる君・あゆみちゃんとのふれあい交流で楽しいひと



▲最後に、人権擁護委員の方々と人KENまもる君・あゆみちゃん、先生、子どもたちがみんなそろって、にっこりポーズ。

時を過ごしました。最後に子どもたちは、「これからも優しい気持ちでお友達と仲良くします」と約束してくれました。

学校給食にかなべ牛 ～かなべ牛銘柄確立協議会より～

今年度も「かなべ牛銘柄確立協議会」から“かなべ牛”が一部無償提供され、1月26日、27日の学校給食に「かなべ牛の和風ソテー」として提供しました。かなべ牛は、黒毛和種という種類で、



▲川辺の自然に恵まれ、おいしい水と空気に育てられた牛が、4000頭以上飼育されています。

川辺町の畜産農家で15カ月以上飼育された牛のことを言います。この日のかなべ牛の和風ソテーは完食でした。

地元の野菜をたくさん食べよう!! ～川辺小学校～

1月12日、川辺小学校の全校朝会にお茶むらい兄弟が登場し、全校生徒と一緒にほうれん草や人参のクイズを楽しみました。これは食育指導の一環で「野菜をもっと食べてもらいたい」という思いから



▲お茶むらいからのクイズで野菜の名前を尋ねられると、児童は元気よく答えました。

実施されたものです。

「地元の野菜をたくさん食べて、お茶もたくさん飲もう」とお茶むらい兄弟はメッセージを伝えました。

優秀技能者 表彰 ～(有)古市美人仏壇店 古市 美人さん～

平成27年度優秀技能者として、(有)古市美人仏壇店の古市美人さんが知事賞に表彰されました。これは、古市さんが昔ながらの伝統技法を守りつつ時代に沿った家具調的な仏壇や若い年代層に求められるデザイン



▲古市さんは、これまでに経済産業大臣賞や九州経済産業局長賞など多くの受賞歴もあります。

の開発にたけ、また、自分の持つ技法を広く伝授し、後継者の育成にも熱意を持って当たられていることが評価されたものです。

九州産業局長 表彰 ～川原美術工芸 川原 茂人さん～

平成27年度伝統的産業功労者九州経済産業局長賞を川原美術工芸の川原茂人さんが受賞しました。川原さんは蒔絵1級技能士などの認定を受け、新幹線「つばめ」の内装に蒔絵を施したり、東日本大震



▲川原さんは「座右の銘は“一生が修行”。これからも慢心することなく一生懸命、工芸品の製作に励みたい」と話しました。

災被災地への小型仏壇寄贈の取組では蒔絵部門の中心として作成に当たるなど、仏壇職人の第一線で活躍しています。

退任

鶴田 康夫



任期:平成20年2月1日～
平成28年1月31日

私は、南九州市が誕生してから間もない平成20年2月1日に副市長に就任しましたが、あつと言う間に8年が経過し、時の過ぎる速さに驚いております。

ところで、本市は、町の人口や財政規模、産業がほぼ同じでありながらも、歴史や文化、伝統などが異なる三町が合併した自治体であります。

そのために、初代市長の霜出勘平氏は、市政運営にあたり「日々の暮らしに安心と安全が実感できるまち南九州市」づくりを目指し、そのことを実現するためには、三町の融和と一体化を図ることが重要課題と位置づけた南九州市総合計画を策定し、着実に実行されました。そして、その基本理念は塗木弘幸市長にも引き継がれているものと思われまます。

現在は、市民の皆さまのご理解とご協力のおかげで、文化やスポーツ大会の統一開催、各種団体

の統合が計画どおり進められ、市民の融和が図られていることに對し感謝申し上げます。

そして、少子高齢化が急速に進みつつあるにもかかわらず、市民の皆さまが地域の活性化のために、積極的な活動をされていることは、本市が発展期に入りつつあることの証であると思っております。

私は、市長の補佐役として、業務を遂行して参りましたが、故郷で多岐にわたる仕事に従事してきました。このことはひとえに市民や議員の皆さまのご理解とご協力のおかげであり心からお礼申し上げます。

なかでも、市民の命と安全を守るために積極的に取り組んだ指宿南九州消防組合の設立と知覧特攻平和会館の遺書や手紙などをユネスコの世界記憶遺産に登録申請することに関わったことは、いつまでも記憶に残るでしょう。

市民の皆さまには、今後とも「自然豊かで創造と活力に満ちくらし」といのちが輝くところやすらぐまち」の実現のためにご協力をお願いいたします。

結びに、南九州市の更なる発展と市民の皆さまのご健勝を祈念申し上げます。あいつつといたします。ありがとうございます。

南九州市副市長 退任・就任のごあいさつ

就任

本多 公明



平成28年2月1日 就任

このたび、副市長の任を拝命し、その重責に身の引き締まる思いをいたしております。

私は、これまで県職員として、地方分権や環境、土木、福祉、農政などの分野に携わって参りましたが、住民の皆さま方に最も身近で、より幅広い市政に携わることには初めてのことです。

新たなことに取り組むことへの緊張感の一方で、山から海へと大地を覆い美しく輝く緑のお茶畑、変化に富み景勝が見事な「番所鼻自然公園」、薩摩の小京都と呼ばれる「知覧武家屋敷群」、古の人々の思いの深さを感じさせてくれる「清水の磨崖仏」や「川辺仏壇」などの伝統産業、訪れた人に生命、平和の尊さを教えてくれる「知覧特攻平和会館」など、豊かな自然と歴史・景観、文化を有するこの地に住まい、多くの方々とうれ合えることへの期待と感謝でいっぱいであるところでもあります。

さて、地方自治を巡る状況は、グローバル化の急速な進展や人口減少、超高齢化社会の到来、厳しい財政状況など大きな変革期を迎え、これまで有効に機能していたさまざまなシステムが十分機能しなくなってきたり、将来に対する不透明感が増大してきています。また、昨今は、地方創生や一億総活躍社会ということが言われていますが、これからの地方自治においては、これらのトレンドを取り込みつつ、より一層、住民の方々の声を聞き、その理解と協力を得ながら、地に足のついた行政を進めることがとても大事であると考えております。

今後、「市民の声を羅針盤」とされる塗木市長の下、力強く前進する南九州市を実現するため、誠心誠意、全力で職務に取り組んで参りますので、市民の皆さま、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。